

歯みがき剤のむし歯予防力がさらにアップしました!!



過去号でも、フッ素がむし歯予防に効果があるってお知らせしてきましたが、じつは日本の歯みがき剤のフッ素濃度は、1000ppmF以下と決められていました。このほど国際基準（ISO）と同じ1500ppmFを上限とする歯みがき剤の発売が認可され、**予防力がパワーアップしました!**

改めて、おさらい…



フッ素の3大効果!

効果1

歯の再石灰化（修復）を促進する

効果2

歯質を硬く丈夫にする

効果3

むし歯菌の活動をおさえる

フッ素はむし歯予防だけじゃない。初期むし歯の治療に有効です!

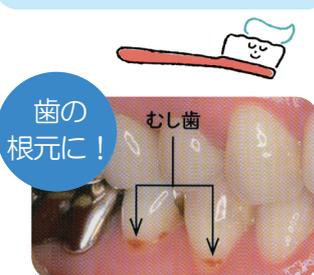
歯の表面（エナメル質）は、食事の度にカルシウムなどが溶け（脱灰）だ液の力によって時間と共に歯に戻り修復（再石灰化）するをくり返しています。歯の溶解に補修のスピードが追いつかないとむし歯になってしまい、この初期段階が「初期むし歯」です。そこで、補修のスピードアップをしてくれるのが“フッ素”。歯を守るために毎日フッ素を使って補修力をアップし、初期むし歯を予防しましょう。



象牙質を守る力もアップして、大人のむし歯も予防しよう!



詰め物の下の象牙質に入り込んだむし歯



歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に! 歯の根元に!



被せ物の下の象牙質に入り込んだむし歯

高濃度フッ素配合歯みがき剤の効果をうまく引き出そう!

Point 1 毎日使います。

歯が溶けるスピードに勝るスピードで補修することが大切



Point 2 寝る前が効果的。

就寝中はだ液量が減るのでフッ素がだ液に流されず、よく働いてくれます



Point 3 すすぎは1回で。

フッ素をすすいで捨ててしまっても、十分な効果は期待できません



Point 4 水は少なめで。

おちょこ1杯分もあれば十分。製品によっては、すすぎの水の量を紹介していますので、メーカーのサイトを参照してみよう



Point 5 使用量は適量で

年齢ごとに使用量の基準があります



Point 6 ジェルや洗口液をちよい足し。

寝る前に、すすぎが少なくすすぎジェルや洗口液を使うと、フッ素がとどまりやすく、効果がアップ!



丸尾歯科では、患者さまお一人おひとりに合った、効果的なフッ化物の使用法をアドバイスしております。ご自分のお口に合ったフッ化物を教えてください、上手な使い方**で一歩進んだむし歯予防**をしましょう!